

平成22年度

事業報告書

学校法人 岡崎学園

I 法人の概要

1 建学の精神

「誠 愛」

本学園が、教育理念に掲げる「誠」は中国の古典『中庸』の教えであり、「愛」はキリスト教の掲げる精神です。いずれも二千年以上にわたって受け継がれた思想で、何時の時代でも、何処に行っても、人が人として社会生活を営む上で必要とされる普遍性を持ったものです。

「誠」とは、真実で嘘・偽りのないものという意味です。人間は欲のある動物ですから、邪（よこしま）な考えをしがちです。だから、教育によって真実で嘘・偽りのないものを求める人とならなければならないのです。そして、「誠は、天の道なり。これを誠にするは人の道なり」というのは、嘘・偽りのないものは、天の道であるから、人は天の道であるから、人は天の道に従って生きるよう努めよ、と言っているのです。

「愛」はキリスト教の根本思想です。最近いじめによる子どもの自殺や若い親による幼児虐待事件といった心を痛める事件が後を絶ちません。これは愛の問題です。親子、夫婦、家族、兄弟姉妹、師弟、郷土等様々な人間関係における相手を思いやる「愛」という潤いが日々失われ、殺伐とした事件を引き起こしているのではないかと考えてなりません。

本学園の教育理念である「誠 愛」は、人が最も陥りやすい過ちに対する戒めと、明るく健全な社会を築く上の羅針盤です。様々な場所で様々な教育を受けられた皆さんが本学園に集い、新たな師、新たな友と共に研鑽を積まれ、社会の人々の心に「誠 愛」の灯をともし、美しい世の中を創る先兵となって頂けることを本学園として願って止みません。

(本学ホームページ「教育理念」より抜粋)

2 学校法人の沿革

明治39年	6月	白井こう女史、岡崎裁縫女学校設立認可、開校
昭和6年	9月	岡崎高等家政女学校と改称
昭和17年	3月	財団法人岡崎高等家政女学校認可
昭和21年	3月	白井武夫校長就任 白井こう名誉校長就任
昭和22年	4月	岡崎晨星中学校併設
昭和23年	3月	岡崎家政高等学校と改称
昭和26年	2月	学校法人岡崎家政学園に組織変更
昭和29年	11月	岡崎晨星中学校廃止
昭和29年	12月	岡崎女子高等学校と改称し普通科増設
昭和47年	4月	白井通義校長就任
昭和56年	11月	学校法人岡崎学園と改称

平成 4 年 4 月 岡崎学園国際短期大学開学 岡崎学園高等学校と改称
 平成 12 年 4 月 人間環境大学開学
 平成 13 年 4 月 人間環境大学岡崎学園高等学校と改称
 平成 14 年 4 月 人間環境大学岡崎学園高等学校男女共学化
 平成 14 年 5 月 岡崎学園国際短期大学廃止
 平成 15 年 4 月 人間環境大学大学院開学
 平成 17 年 4 月 人間環境大学岡崎学園中学校開校

3 設置する学校・学部・学科等

学校名	開校年月	学部・学科等	摘 要
人間環境大学 大学院	平成 15 年 4 月	人間環境学研究科	
人間環境大学	平成 12 年 4 月	人間環境学部 人間環境学科 自然・社会環境専攻 心身環境専攻 歴史・文化環境専攻	
人間環境大学 岡崎学園高等学校	明治 39 年 6 月	全日制課程 普通科	
人間環境大学 岡崎学園中学校	平成 17 年 4 月		平成 23 年度 より募集停止

4 学校・学部・学科等の学生数の状況

平成 22 年 5 月 1 日現在
 (単位：人)

学校名	研究科、学部、専攻、課程名等	入学定員	収容定員	現員数
人間環境大学 大学院	人間環境学研究科	8	16	16
人間環境大学	人間環境学部	200	800	542
人間環境大学 岡崎学園高等学校	全日制課程 普通科	315	945	750
人間環境大学 岡崎学園中学校		80	240	56

5 役員の概要

平成23年5月26日 現在

定員数 理事 8～9名、監事 2名

区 分	氏 名	常勤・非常勤の別	摘 要
理事長	河原 次瞭	非常勤	平成23年3月理事及び 理事長就任 学校法人河原学園 学園長
理 事	河原 成紀	非常勤	平成23年3月就任 学校法人河原学園 理事長
理 事	依岡 篤史	常勤	平成23年3月就任 法人事務局長
理 事	八木 聰明	非常勤	平成23年4月就任 千葉・柏リハビリテーション 学院学院長
理 事	芦田 宏直	非常勤	昭和23年3月就任 学校法人東海大学 国際教育センター 教授
理 事	杉山 孝男	非常勤	昭和23年3月就任 学校法人名古屋大原学園 理事兼学園長
理 事	服部 良男	非常勤	平成22年4月就任 服部工業株式会社 代表取締役社長
理 事	越智 節也	非常勤	平成23年4月就任 愛媛県高等学校長協会 副会長
監 事	浅山 敏浩	非常勤	平成23年4月就任 岡崎信用金庫 総合企画部副部長
監 事	佐藤 高章	非常勤	平成23年4月就任 弁護士

前会計年度の決算承認に係る理事会開催日後の退任役員

区 分	氏 名	常勤・非常勤の別	摘 要
理事長	白井 恵三	常勤	平成22年4月就任 平成23年3月退任

区分	氏名	常勤・非常勤の別	摘 要
理 事	片山 幸士	非常勤	平成２２年４月就任 平成２３年３月退任
理 事	伊東 広悦	常勤	平成２２年４月就任 平成２３年３月退任
理 事	古澤 武雄	非常勤	平成２２年４月就任 平成２３年３月退任
理 事	白井 克佳	非常勤	平成２１年４月就任 平成２３年３月退任
理 事	林 和夫	非常勤	平成２２年４月就任 平成２３年３月退任
理 事	浅山 敏浩	非常勤	平成２２年４月就任 平成２３年３月退任 平成２３年４月より監事就任
監 事	黒河 陽	非常勤	昭和４７年４月就任 平成２３年３月退任
監 事	伊藤 公正	非常勤	平成１６年３月就任 平成２３年３月退任

6 評議員の概要

平成２３年５月２６日 現在

定員数 １７～２１名

氏名	主な現職等
児玉 恒徳	人間環境大学岡崎学園高等学校嘱託教諭
田中 爲雄	人間環境大学岡崎学園中学校高等学校教頭
大海 丘也	人間環境大学岡崎学園高等学校教頭
片山 幸士	人間環境大学副学長
依岡 篤史	法人事務局長
佐藤 光江	同窓会会長
早川 りょう	(卒業生)
杉浦 悦子	(卒業生)
可児 千恵子	(卒業生)
八木 聡明	人間環境大学学長、人間環境大学岡崎学園中学校高等学校校長
河原 次瞭	理事長
河原 成紀	理事
菅沼 剛	(学識経験者)

氏名	主な現職等
服部 良男	服部工業株式会社 代表取締役社長
村松 紳年	学校法人名古屋大原学園 理事長
橋本 正剛	人間環境大学岡崎学園中学校高等学校事務長
遠藤 幸裕	学校法人河原学園 職員
茅野 峰雄	学校法人河原学園 愛媛大原簿記公務員専門学校副校長
芦田 宏直	学校法人東海大学 国際教育センター 教授

7 教職員の概要

平成22年5月1日現在

(単位：人)

区 分		法 人	大 学	高 校	中 学	計
教 員	本 務	0	3 5	4 8	8	9 1
	兼 務	0	8 0	1 1	1	9 2
職 員	本 務	1	1 7	7	1	2 6
	兼 務	0	3 7	6	2	4 5

8 その他

系列校及びグループ法人等なし

II 事業の概要

1 事業の概要

平成22年度では、3年計画の2年目を向かえた「大学教育充実のための戦略的
大学連携支援プログラム」、「大学教育・学生支援推進事業（学生支援推進プログラ
ム）」の各事業について、取り組みを実施した。また、中教審答申「学士課程教育
の構築に向けて」に対応したアクションプランの取り組みを行った。

高校では、コースの名称、あり方を一新し、「人間教養」「特進α」「特進β」の
3コースとして教育、指導に組み、成果をあげている。

中学では、平成23年度からの募集停止を決定した。在学生に対しては、今まで
と同様に、きめ細かい教育、指導を実施した。

2 主な事業の目的・計画及びその進捗状況

(1) 大学

「戦略的大学連携支援プログラム」及び「学生支援推進プログラム」に加え、学部、大学院の更なる充実を図り、地域との連携を深めていく事業を実施した。

① 戦略的大学連携支援プログラム

- ・ 取組み名称：大学学部教育における「環境教育」共通カリキュラム開発のための戦略的大学連携事業

本学（代表校）、鳥取環境大学、京都学園大学、豊橋技術科学大学

- ・ テレビ会議システムを利用した授業相互利用の実施（前期 7 科目、後期 9 科目）
- ・ 共同フィールドワークの実施（琵琶湖／芦生研究林／芦津の森）
- ・ 連携事業成果発表のための環境教育シンポジウムの開催（10 月）
- ・ 学部 1・2 年次生対象プログラム及びテキストの開発

② 大学教育・学生支援推進事業（学生支援推進プログラム）

- ・ 学生相談スタッフ 1 名配置（4 月～3 月）
- ・ 非常勤カウンセラー 2 名配置（4 月～2 月）
- ・ キャリアデザインⅠ・Ⅱ科目を開講（前期）
- ・ ビジネスコミュニケーション科目を開講（前期）
- ・ 環境カイゼン実践プログラムを開講（4 月～12 月）
- ・ 企業向け大学案内を作成し、企業等約 3,500 社へ発送（1 月）
- ・ 3 年生向けキャリアハンドブック、2 年生向けキャリアデザインブックを作成（3 月）

③ 中教審答申「学士課程教育の構築に向けて」に対応したアクションプランを実施した。

具体的な内容として

- ・ 当面 5 ヶ年計画として専任教員の退職年度と平成 23 年度以降の開設学科目見直しを行い、これに伴った関連授業科目の見直し、コース制カリキュラムの検討を実施した。
- ・ 初年次教育について、入学直後に学生の学びや人生に対する目的意識の希薄さを改善するための「自己管理ツール」の検討を行い、平成 23 年度から試行するための準備を実施した。
- ・ 平成 22 年度入学生より、GPA 制度を導入した。
- ・ 大学にて制定した社会人としての基礎力に関する「八つの能力」と、教育課程を結びつけるために、開設科目ごとに「八つの能力」の何を育成するかを明確にし、シラバスに明記する準備を進めた。

- ・課外活動の支援策として、以前より実施をしていた本学学生後援会からの各部活動への補助金の交付を引き続き実施した。また、学生による「課外活動プロジェクト」を発足させ、部活動の活性化に向けた活動を実施した。
- ・専任教員の教育業績評価に関しては、検討中であり、平成23年度以降も引き続き協議を進めていくものである。
- ・FD活動の活性化を図るため、学生への授業評価アンケートを実施し、アンケート結果に対して、科目担当教員がコメントを加え、学生にフィードバックを行った。また、平成22年度より、他の教員からの意見等により講義の質的向上を図ることを目的とした、教員同士の授業参観を導入した。

④ 平成22年度の主な事業

- 4月 入学式 学部生 128名
大学院生 6名
公開講座申込者数 前期 27名（50講座）
後期 29名（56講座）
- 6月 名古屋市生涯学習センター大学連携講座 受講申込者数29名
岡崎学園中学校高等学校PTA教育座談会 大学訪問19名
(内高校教員4名)
いのちの科学フォーラム・人間環境大学市民公開講座 106名
- 8月 免許状更新講習実施（必修講座1、選択講座8講座）
高大連携協定による大学見学
愛知県立海翔高等学校普通科環境コース 1年生18名
愛知県立田口高等学校普通科 1年生27名、2年生29名
- 9月 海外大学（台湾）との交流事業
台湾東海大学学生15名、慈済大学学生6名 本学学生15名
産学懇談会（岡崎商工会議所会員企業15社、岡崎商工会議所）
- 10月 岡崎市市民カレッジ 受講申込者数36名
人間環境大学岡崎学園高等学校2年生大学見学会 200名
戦略的大学連携支援プログラム平成22年度シンポジウム 69名
- 2月 大学間協定による台湾東海大学訪問 学生6名、教員2名
- 3月 人間環境大学岡崎学園高等学校1年生大学見学会 270名
平成22年度第1回FD・SDセミナー開催
(教員15名、職員6名参加)
- 学位授与式（15日） 学部生 135名
大学院生 8名
- 臨床心理士合格者数 6名

2 高校部門

生徒一人ひとりの育成に取り組むため、より充実した教育を目指し、コース名を変更し各コースの特徴を明確にし、その定着を図った。

(1) 各コースの概要

① 人間教養コース

本学の女子教育の伝統を受け継ぐ、女子のみで構成されるコースである。生徒一人ひとりの興味や関心に応えつつ、能力・個性を育成する。礼法、IT、芸術、小論文などの特色ある多彩な授業に注力した。また就職を希望する生徒に対しては、担任面談や三者懇談を核に志望企業に合せた面接指導、アドバイス等を実施した。

② 特進 α コース

学習量・質を確保しつつ、部活動や校内外活動にも全力で取り組めるコースである。朝学、自学自習、進学補講などの特進カリキュラムと併行して、部活動や校内外活動などの状況に合わせ自らスケジュールの調整が可能となっている。これらの活動により、推薦入試や、AO入試の機会も予想され、対象者にはきめ細かな指導を実施する。

③ 特進 β コース

国公立大学、難関私立大学への進学をめざし、豊富な学習時間と高度な学習内容を提供するコースである。学習時間の確保を最優先としたカリキュラムを編成し、これに朝学や自学自習、土曜日の進学補講、さらに各種の補習を組み合わせることにより、充実した学習環境を確保する。部活動への参加は原則として不可とし、1年次より大学受験をゴールとした指導を実施する。

(2) 平成22年度の主な行事

4月	入学式（入学者数275名）	遠足
6月	体育大会	
7月	夏山登山研修（1年生）	
9月	文化祭 合唱コンクール	
10月	芸術鑑賞会	
12月	ウインターコンサート	
2月	予餞会 卒業式（卒業者数270名）	
3月	修学旅行（2年生）	

3 中学部門

平成23年度からの募集停止を決定した。在学生に対しては、「教育の5本柱」（基礎基本の徹底、自学自習の習慣、英会話力、思いやりの心と高い志、国際人としての教養）を中心として、生徒一人ひとりに対し充実した指導を実施した。

(1) 平成22年度の主な行事

4月	入学式、オリテン合宿（1年）入学者数20名
6月	体育大会
7月	語学研修 オーストラリア 参加者23名（3年）
7月～8月	夏期補習
9月	文化祭 秋桜コンサート
12月	ウインターコンサート
2月	マラソン大会
3月	卒業式 卒業者数26名

3 施設等の状況

1 現有施設設備の所在地等の説明

主な施設設備の状況は次のとおりである。

所在地	施設等	面積等	帳簿価額	摘 要
岡崎市稲熊町	校地	79,491.06 m ²	1,010,753 千円	
	校舎3棟	11,953.60 m ²	1,154,564 千円	
	寄宿舎	984.90 m ²	38,319 千円	
	倉庫	70.66 m ²	1,240 千円	
岡崎市本宿町	校地	38,422.00 m ²	292,542 千円	
	校舎8棟	10,548.07 m ²	1,300,940 千円	
	弓道場	92.40 m ²	4,394 千円	
	実験棟	24.00 m ²	7,513 千円	
岡崎市稲熊町	校地	1,493.00 m ²	61,704 千円	法人持分
岡崎市本宿町	校地	410.83 m ²	103,540 千円	法人持分
	校舎	99.25 m ²	7,700 千円	法人持分

2 主な施設設備の取得又は処分計画及びその進捗状況

特に記載すべき事項はなし。

4 その他

該当なし

5 その他

(1) 有価証券の状況

区 分	銘 柄	数 量	B/S 価額	時 価	計上科目	摘 要
出資証券	岡崎信用金庫	20 口	9,930 円	9,930 円	有価証券	
計		20 口	9,930 円	9,930 円		

(2) 借入金の状況

借入先	借入残高	利 率	返済期限	担保等
日本私立学校 振興・共済事業団	89,150,000 円	3.25%	平成 27 年 9 月 20 日	土地
同 上	333,300,000 円	1.70%	平成 33 年 3 月 20 日	土地
同 上	75,130,000 円	1.80%	平成 34 年 3 月 15 日	土地
同 上	133,320,000 円	1.30%	平成 34 年 9 月 15 日	土地
同 上	34,560,000 円	1.00%	平成 35 年 3 月 15 日	土地
岡崎信用金庫	250,040,000 円	2.10%	平成 33 年 3 月 27 日	土地、建物
同 上	150,000,000 円	1.50%	平成 23 年 4 月 4 日	土地、建物
大垣共立銀行	50,000,000 円	1.50%	平成 23 年 7 月 31 日	なし
合 計	1,115,500,000 円			

※返済を愛知県の補填にて行う（財）愛知県私学振興事業財団分 350,422,041 円は除く

(3) 学校債の状況

該当なし

(4) 寄付金の状況

寄付金の種類	寄付者	金額	摘要
一般寄付金	平成 22 年度高校卒業生	1,350,000 円	卒業記念品
同 上	PTA（中学、高校）	200,000 円	図書費
現物寄付金	高校女子バレーボール部 3 年生	87,000 円	ビデオムービー
同 上	大学教員	84,800 円	科研費補助金購入分
同 上	大学への寄贈者	16,700 円	図書、視聴覚資料
合 計		1,738,500 円	

(5) 収益事業の状況

私立学校法に定める収益事業は、該当なし。

(6) 関連当事者等との取引の状況

- | | |
|----------|--------|
| ア) 関連当事者 | 該当取引なし |
| イ) 出資会社 | 該当取引なし |

以上